

平假名錢神問答

京傳作
三馬佑



京傳作

通油
板元

13
2946
57



へ13
2946
57

57

大藏經
卷之七
大藏經



大藏經
卷之七
大藏經



大藏經
卷之七
大藏經

大藏經

心願のついでに... 昔々のあはれ... 依りあはれ...
 部の猶も... あり... 生... 謝...
 是と... 種... せん... ま... せ... 一...
 を... 三... の... あり... 古... 後... 得...
 不作仇人只為確立貨
 かねが... きの... あり... あり...

雲顧君子須
 認印信為真

山東京傳戲題



傍の故十二庚申春教行



人の一生... 金... 五... 目... 金... 五...

二... の... 五... 五...



秘入らぬく京
つひわくくあり
ておやよりゆづり
まゐるまんばと
ゆづりのよりれつ
うあふさぬど
にありあり
おとた金貨
あれはあぢい
ふふ子をの
うらじやく
ありはまはあ
のまあまは
いのちがひと
まんりやくのま
のけてとま
むらちがひまひ
あふれ出たま
むらじやくかん
けんま

あふれ出たま
むらじやくかん
けんま



あふれ出たま
むらじやくかん
けんま

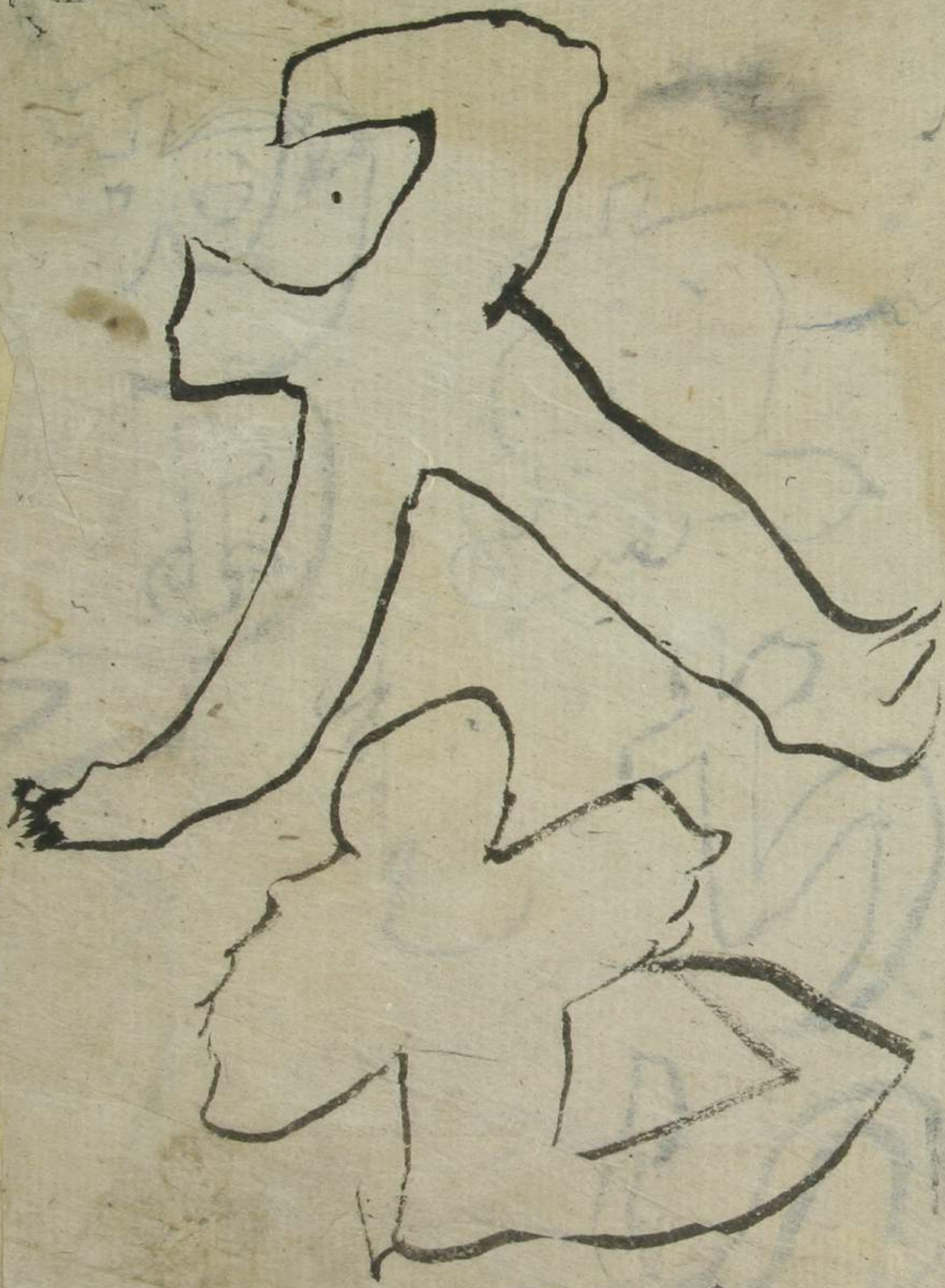
あふれ出たま
むらじやくかん
けんま



あふれ出たま
むらじやくかん
けんま

あふれ出たま
むらじやくかん
けんま

あふれ出たま
むらじやくかん
けんま



けりておののりふれとまら唐揚の
 時錢珠ふけさたの故のより莊子
 とおもとむひつたはさうあんと
 んんころ

目ふくこれこれ
 んんぢちちのち
 ぶらぶらとさ
 一のせふら
 まげまのち
 りけんらとつ
 こころあつた
 ひまら

けりておののりふれとまら唐揚の
 時錢珠ふけさたの故のより莊子
 とおもとむひつたはさうあんと
 んんころ

平假名錢神問答





このてしう ままの
 せんせふとさうりけきを
 ついてあんまをうらへんの
 ともふらちのりんの
 せういんま

この
 せういんまのや
 りんま
 せんせふ
 とさうり
 けきを
 ついて
 あんま
 をうら
 へんの
 とも
 ふらち
 のりん
 の
 せう
 いん
 ま

西
 (Faint handwritten notes and a large scribble on the right page)

世の世にわたりて
人の世にわたりて
世の世にわたりて
人の世にわたりて

千両の金
百両の銀
五十両の銅

千両の金
百両の銀
五十両の銅
十両の銀
五両の銅
二両の銀
一両の銅



うらやま
これぞ
うらやま
これぞ





樹の三三三
の三三三

これに三三三
の三三三

三三三
の三三三



引三三三
の三三三

これに三三三
の三三三

三三三
の三三三

三三三
の三三三

三三三
の三三三

平假名錢神問答



板元重
京傳作

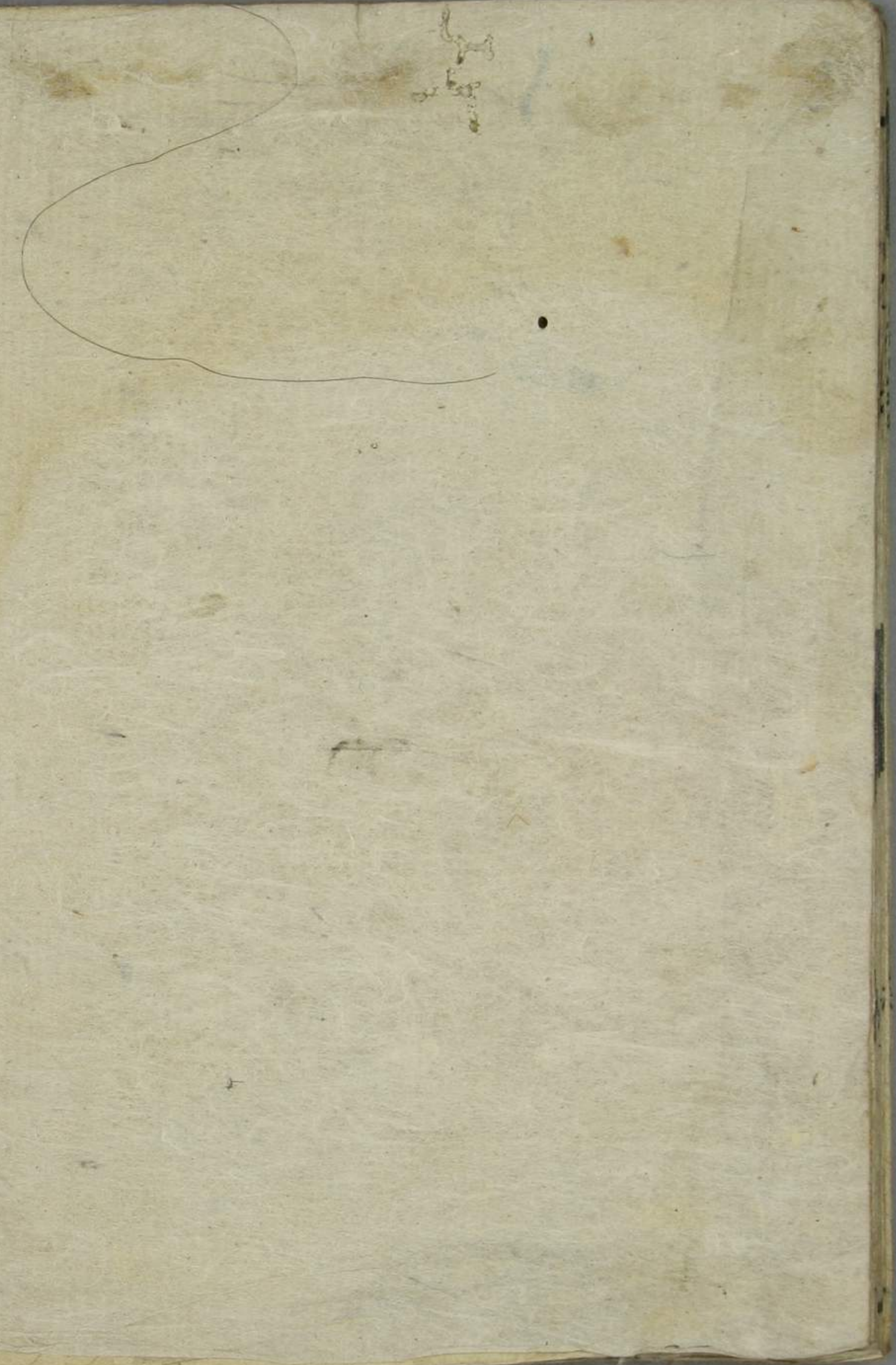
通油町下



やれもやれとやうに
うらもやまきりらとやうに
人のつらさうふらふら
女わうふんまきうく
めらとやけふさうて
女がういさうちうま
まふらういさうちう
まふらういさうちう
まふらういさうちう
まふらういさうちう

いさうちう
まふらういさうちう
まふらういさうちう
まふらういさうちう
まふらういさうちう

金ぐ日
まふらういさうちう
まふらういさうちう
まふらういさうちう
まふらういさうちう





ありはうらな
 のまじりま
 はりともつやう
 あり
 引つうれ
 のまじりま
 いふれどよま
 ある金とま
 まら春のま
 むあくとま
 むあくとま
 あり
 ありはうらな
 のまじりま
 はりともつやう
 あり
 引つうれ
 のまじりま
 いふれどよま
 ある金とま
 まら春のま
 むあくとま
 むあくとま
 あり

ありはうらな
 のまじりま
 はりともつやう
 あり
 引つうれ
 のまじりま
 いふれどよま
 ある金とま
 まら春のま
 むあくとま
 むあくとま
 あり



ありはうらな
 のまじりま
 はりともつやう
 あり
 引つうれ
 のまじりま
 いふれどよま
 ある金とま
 まら春のま
 むあくとま
 むあくとま
 あり

ありはうらな
 のまじりま
 はりともつやう
 あり
 引つうれ
 のまじりま
 いふれどよま
 ある金とま
 まら春のま
 むあくとま
 むあくとま
 あり

ありはうらな
 のまじりま
 はりともつやう
 あり
 引つうれ
 のまじりま
 いふれどよま
 ある金とま
 まら春のま
 むあくとま
 むあくとま
 あり

ありはうらな
 のまじりま
 はりともつやう
 あり
 引つうれ
 のまじりま
 いふれどよま
 ある金とま
 まら春のま
 むあくとま
 むあくとま
 あり

だまらばやうせんらんに
あやふいど云わんかどそ
きんぐのわごはるんぞう
アをこゝろでせれいそん
けれをまはせりまのいそ
るんらまんぐとせまら
にづいしあやまり
もんやさこいづん
いまこまやうん
つゝせんい百人の
せふとゆさかしの
いんとなねとそわ
すべしあまらる
とせんのがこころま
らまんぐあまらり
とらんわまひそ
おまけとかな
おまめしあ

「何ならがす人のせんハ
なまらうがむえん今ま
そんの方さうらひの
つゝとらひらうつしそん



張文成
遊仙窟
女とくと
いまは
つゝの
まんぐ
とくと
いそ
あま
は
は
は

何まらばやうせんらんに
これまらうがむえん今ま
うらよせんのがまら
はてまらうゆめあ
まのいそとらひそん
くらうのまらうとらひま
せん
とまらうとらひま
よりまらうとらひま
とらひま

「切やあはははははは
のことトキを角がなよ
とらひまらうとらひま
くまのまらうとらひま
まらうとらひま
よまらうとらひま
よまらうとらひま
よまらうとらひま





子あまのり
 つれづれと
 人あはれ
 こころの
 とこのま
 ちりくは
 てまんぐ
 まるにひ
 ちあひあ
 とちあひ
 んがけべ
 れがさう
 ちんらん
 むこと
 うとが
 ち



子あまのり
 今ちあひ
 ちんらん
 うとが
 むこと
 ち

子あまのり
 つれづれと
 人あはれ
 こころの
 とこのま
 ちりくは
 てまんぐ
 まるにひ
 ちあひあ
 とちあひ
 んがけべ
 れがさう
 ちんらん
 むこと
 うとが
 ち



子あまのり
 今ちあひ
 ちんらん
 うとが
 むこと
 ち

全のるま本はつうハ
 りふる文藝
 及百勝はす死くハ
 山ハ
 のせん
 のせん
 文
 豊國画
 京傳戯作

○京傳店の繪はしあき
 ちやく目ふき
 志ん仕
 志ん仕
 志ん仕

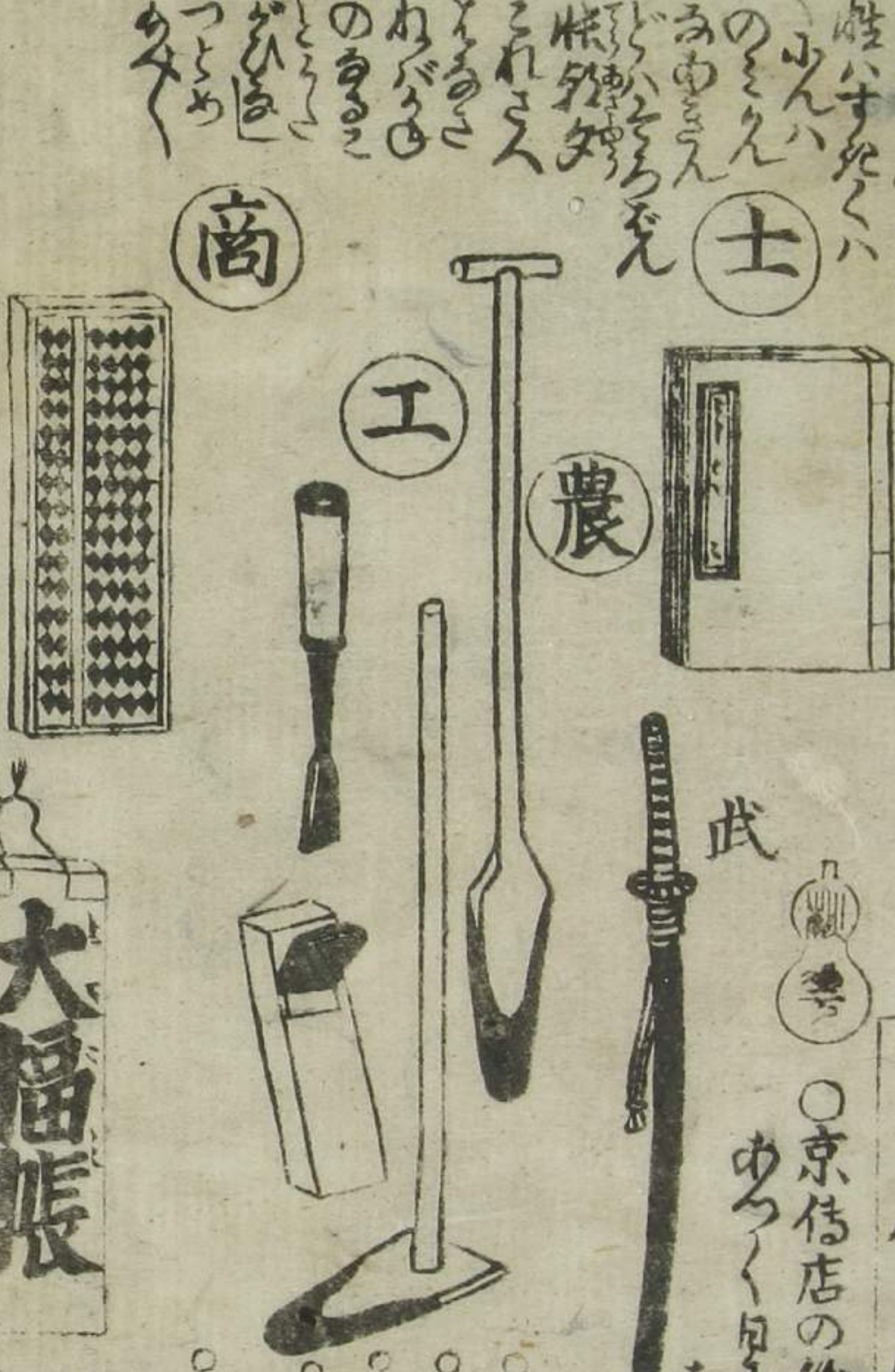
○紙こむこ入
 ○鼻紙試管の
 ○志んざれ
 ○あまうが
 ○志ん仕
 ○志ん仕

○の取あけん
 志んがこちん
 志んがこちん
 志んがこちん

○私店よそはこちん
 が全のるま本はつうハ
 が全のるま本はつうハ

○忠臣水滸傳
 忠臣水滸傳
 忠臣水滸傳

圖 樹 錢 搖



○忠臣水滸傳
 忠臣水滸傳
 忠臣水滸傳

游天行

游天行

漢書

11